



UR都市機構



株式会社

日本生科学研究所

平成 26(2014)年 9月 18日

独立行政法人 都市再生機構

東日本賃貸住宅本部

株式会社日本生科学研究所

## ひばりが丘パークヒルズで在宅介護・医療の拠点が完成

～いつまでも安心して生き生きと住み続けられる街づくりを目指した取組～

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）東日本賃貸住宅本部と株式会社日本生科学研究所は、ひばりが丘団地（東京都西東京市・東久留米市）における団地再生事業の一環として、超高齢社会に対応し、高齢者の住まい、介護・医療施設が集積した「日生ケアヴィレッジひばりが丘」の整備を共同して進めてまいりました。今回、サービス付き高齢者向け住宅の竣工をもって全ての施設が完成し、9月25日に報道機関向け内覧会を開催することとなりましたので、お知らせします（資料1参照）。



診療所、調剤薬局、訪問介護・看護事業所等



小規模多機能ホーム、グループホーム



サービス付き高齢者向け住宅（既存住棟大規模改修）

本施設は、団地の資源を有効活用し、団地居住者及び地域の各団体と連携しながら、いつまでも安心して生き生きと住み続けられるまちづくり(=Aging in Place)を目指すもので、

- ① 増加する認知症及び在宅における医療ニーズに対応するため、地域に密着した介護・医療施設を一体的に整備している点
- ② 団地居住者の介護・医療有資格者の積極的な雇用、ボランティアの受入れ及び各種啓発活動を通し、団地における高齢者支援の‘輪’を広げる役割を担っている点
- ③ 昭和30年代に建設された既存住棟を大規模改修して、サービス付き高齢者向け住宅として新たな活用を図っている点

を特徴としております。

今後、UR都市機構及び日本生科学研究所は、本施設を核に、行政、地域包括支援センター、自治会、民生児童委員、周辺の医療・介護・生活支援サービス事業者等と連携し、在宅介護の限界点を追求するとともに、高齢者の就労・活躍の場の提供及び地域での居場所づくり等を通して、「高齢者等による地域の活性化」と「高齢者の活力維持・健康増進」が好循環するまちづくりを進めてまいります。

#### お問い合わせ先

##### ①UR都市機構 東日本賃貸住宅本部

総務部 総務・法務チーム 広報担当 富松

(電話) 03-5323-2555

ストック事業推進部 北多摩地区再生チーム 山地・上條

(電話) 03-5323-3175

##### ②株式会社日本生科学研究所

管理本部 広報担当 杉浦・高橋

(電話) 03-3341-2421

## ■資料1 報道機関向け「日生ケアヴィレッジひばりが丘」内覧会のお知らせ

各報道関係者の方々を対象に内覧会を実施いたします。併せて、開所式及び開所イベントを公開いたします。

開催日時：平成26年9月25日（木）

① 10時（9時45分受付）

② 14時（13時45分受付）

※②については、開所式の公開後、内覧のご案内をいたします。その後、団地居住者向け開所イベントも公開いたします。

[タイムスケジュール]

開所式：14時～14時30分

内覧会：14時30分～15時15分

開所イベント：15時15分～16時15分

開催場所：ひばりが丘パークヒルズ南集会所（下図参照）

申込み先：添付のFAX用紙によりお申込みください。

・内覧会に関するお問い合わせ先

株式会社日本生科学研究所 管理本部 広報担当 杉浦・高橋

（電話） 03-3341-2421

申込み期限：9月24日（水）12時

### <ひばりが丘パークヒルズ南集会所>

バス案内

①西武池袋線「ひばりが丘」駅から

団地経由 武蔵境駅/田無駅行き6分

東伏見経由 三鷹駅行き6分

②西武新宿線「田無」駅から

団地経由 ひばりが丘駅行き17分

※①②共「ひばりが丘団地」バス停下車徒歩1分



# 参加申し込みFAX

株式会社日本生科学研究所 高橋裕子宛て

返信先：03-3341-1737

参加日時（○をおつけください）

平成26年9月25日（木）

① 10時

② 14時

御社名： \_\_\_\_\_

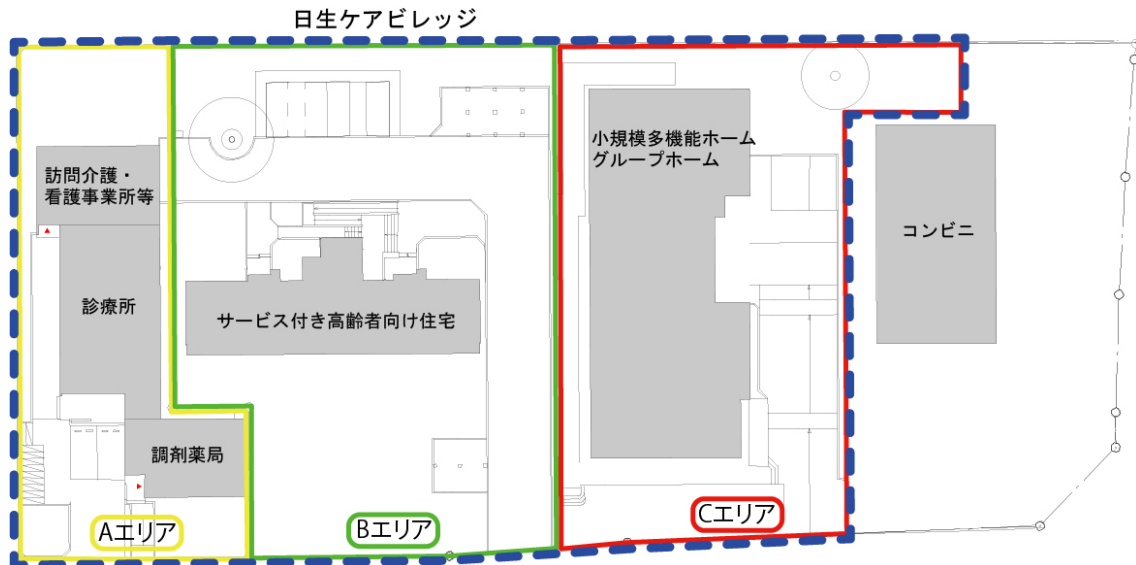
御名前： \_\_\_\_\_

お電話番号： \_\_\_\_\_

参加人数： \_\_\_\_\_人

通信欄

## ■資料2 「日生ケアヴィレッジひばりが丘」事業概要



	Aエリア (750 m <sup>2</sup> )	Bエリア (1,552.59 m <sup>2</sup> )	Cエリア (1,268.47 m <sup>2</sup> )
用途	診療所（内科等） 調剤薬局 居宅介護支援事業所 訪問介護事業所 訪問看護事業所	サービス付き高齢者 向け住宅（16戸）	小規模多機能ホーム 認知症グループホーム （2ユニット）
開設	平成26年7月1日から順次	平成26年10月1日	平成26年5月1日
建物整備 主体	日本生科学研究所	UR都市機構	日本生科学研究所
管理・ 運営	日本生科学研究所 寺村正尚（医師）・ JA三井リース建物	日本生科学研究所 UR都市機構	日本生科学研究所
事業方式	事業用定期借地（25年）	定期建物借家（25年） 住棟単位での活用・改修 <sup>※1</sup>	一般定期借地（53年）

※1 ルネッサンス計画2「住棟ルネッサンス事業」として、平成21年度に広く民間事業者から事業化を前提とした住棟の活用・改修に関する事業アイデアを募り実現化したものです。

（参考）ルネッサンス計画について

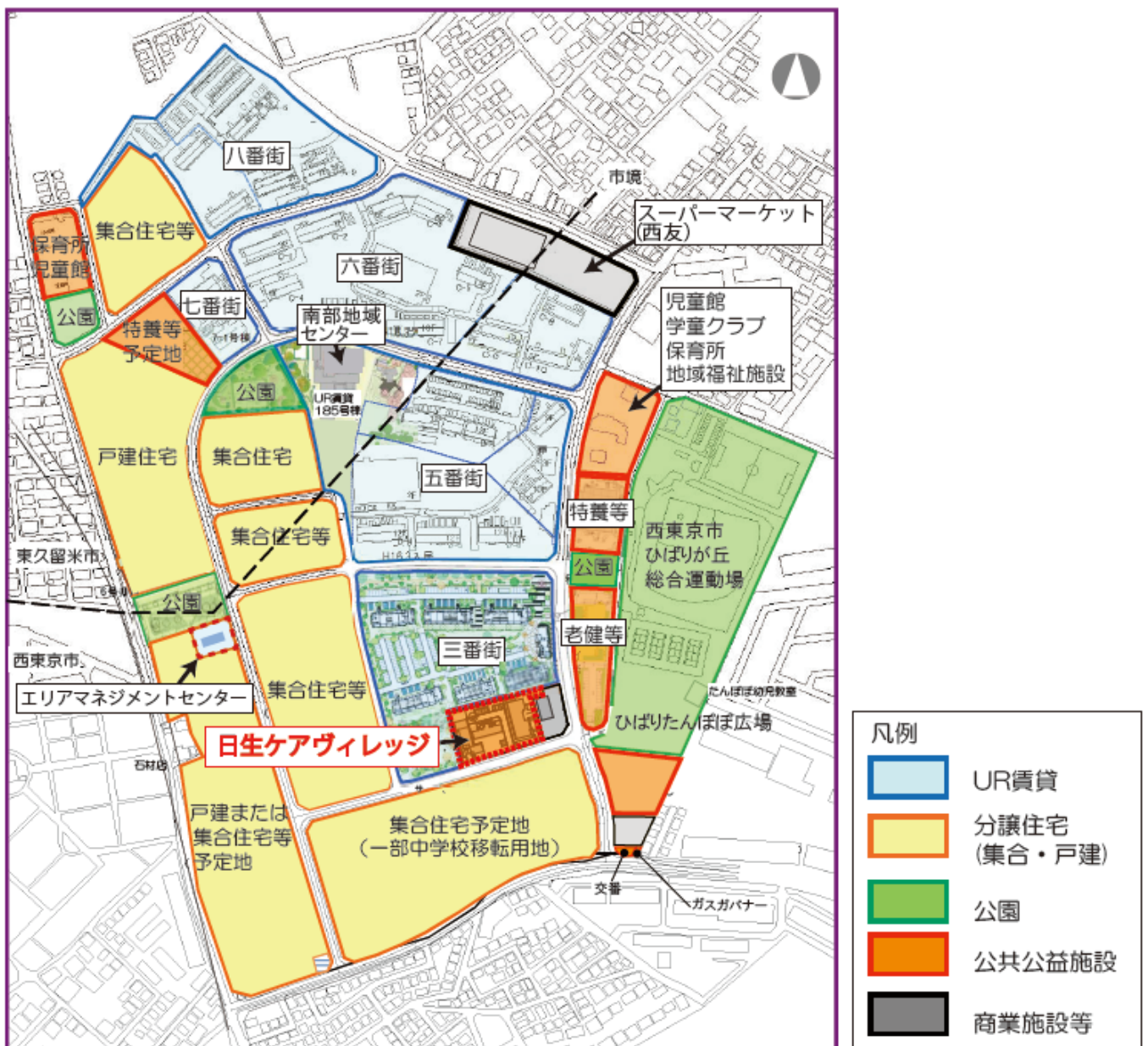
<http://www.ur-net.go.jp/rebuild/rn2/plan/>

### ■資料3 ひばりが丘団地 団地再生事業概要

#### 1. 団地概要等

所在地	東久留米市ひばりが丘団地、西東京市ひばりが丘三丁目ほか	
敷地面積	約 33.9ha	
管理開始	昭和 34 年度（従前団地）	
従前戸数	2,714 戸（低・中層 2～4 階）	
建替後戸数	1,504 戸*	※UR賃貸のみの戸数
事業期間	平成 10 年度～平成 27 年度（予定）	

#### 2. 土地利用計画



### 3. 街づくりコンセプト

「ひばりが丘～緑と暮らすつながりの街～」を全体コンセプトに以下の取組を行っています。

#### ① 団地に継承されている資源を活かした環境にやさしいまちづくり

(例)



ケヤキ並木の継承



松林の継承



ビオトープの整備

□従前の建物をタイプ別に1棟ずつ残し、それぞれ活用を図っています。



スターハウス  
(管理サービス事務所)



中層板状住棟  
(サービス付き高齢者向け住宅)



テラスハウス  
(エリアマネジメントセンター (計画中))

#### ② 多様な世代が安心して、生き活きと住み続けられるまちづくり

(例)

- ・ 多様な住宅の供給 (UR賃貸、ペット共生住宅、分譲マンション、戸建住宅、サービス付き高齢者向け住宅)
- ・ 高齢者関連施設の整備 (特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、日生ケアヴィレッジ等)
- ・ 子育て関連施設の整備 (保育園、児童館、学童保育等)
- ・ 緑のネットワークの整備 (公園・広場、散策路等)
- ・ コミュニティ施設の整備 (エリアマネジメントセンター、集会室、コミュニティ食堂、共同花壇等)



ひばりが丘パークヒルズ (UR賃貸)



共同花壇